

発刊にあたって

今日の農業を取り巻く情勢につきましては、これまでの配合飼料や化学肥料の価格高騰により、負担が大きく積み重なっており、価格も高止まりで推移しているため大変厳しい状況が続いております。

また、世界貿易機関（WTO）の新多角的貿易交渉（ドーハラウンド）や経済連携協定（EPA）における交渉の行方についても予断を許さない状況が続いております。

こうした厳しい状況のなか、国においては、新たな食料・農業・農村基本計画の策定の議論を進めており、その議論において食料自給率を50%に引き上げることを目標とし、必要となる担い手育成や農地確保、農村振興などの施策を展開していくとしており、生産拡大への実効性のある思い切った政策が推進されるのではと期待を持っているところであります。

いずれにいたしましても、この北根室地区において農業の安定化は重要であり、地域経済に大きく影響を与えることから、本協議会としても構成団体等のさらなる連携強化に努め、課題の一つひとつ乗り越え、安定した農業経営を確立していかなければならないと考えております。

さて、本協議会は、毎年、営農改善資料を発行しておりますが、今年度は各農場での家庭菜園づくりが広がりを見せており、厳しい農業経営のなかにあつて、生活の潤いやゆとりを感じられる空間になっているようです。それをさらに充実させたいとのご意見もいただきましたので、今回は余暇の充実を目的とした家庭菜園の手引書を発行することにいたしました。

なお、この「根室の家庭菜園」と題した手引書は、根室農業改良普及センター北根室支所の方々の企画、編集により完成したものであり、心よりお礼申し上げるところであります。

最後になりましたが、こうした生活の潤いやゆとりが営農意欲の向上や担い手育成などにつながり、安定した農業経営の一助となれば幸いです。

平成21年 3月

北根室地区農業改良協議会
会長 柏川俊隆

北根室地区農業改良協議会は、中標津町、標津町、羅臼町、中標津町農業協同組合、計根別農業協同組合、標津町農業協同組合と根室農業改良普及センター北根室支所が協働で営農改善にかかる研究、活動を行っている組織です。